

教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告（1 / 2 ページ）

種目(教科等)【音楽(一般)】

| 項目 | 教科書名(中学音楽 音楽のおくりもの) 会社名(教 出) |
|----------------------------------|--|
| 教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり | <p>○学習指導要領に基づく3つの柱が設定され、各題材が3つの柱のどの部分をねらいとしているかが色分けして示されている。また、音楽を愛好する心情を育て、音楽に対する感性を豊かにするための教材や解説が具体的に示されている。</p> <p>○我が国や諸外国の音楽文化について理解できるように幅広い分野から豊富な教材を取り上げ、日本と諸外国の共通点や相違点を探求する教材を取り上げており、体験を重視した学習活動が取り入れられている。</p> |
| 特色 | <p>〈基礎的・基本的な知識技能を習得させる工夫〉</p> <p>○1年生の「Let's Sing!」では、歌うための準備、変声と混声合唱についてイラストと説明が示され、記号や用語も見開きページで示されている。</p> <p>○各学年の「どんな特徴があるかな?」では、音楽を形づくっている要素を感じ取って聴き、言葉で説明する構成が示され工夫されている。</p> <p>〈思考力、判断力、表現力等を育成する工夫〉</p> <p>○表現したいイメージのヒントとなる吹き出しには、思考力、判断力、表現力につながる質問や助言が示され、知覚・感受したことを記載する工夫がされている。</p> <p>○鑑賞教材においては、「自分の考えを述べる」「比較鑑賞してよさや美しさなどを考える」等の、音楽の価値について考えさせたり、批評を記入する工夫がされている。</p> <p>〈主体的に学習に取り組む態度を養う工夫〉</p> <p>○各教材には、目標とする学習内容が示され、「Let's Try!」「伝えてみよう」「音のスケッチ」コーナーでは主体的な学習に取り組める構成になっている。</p> <p>〈音楽活動の基礎的な能力を伸ばすための工夫〉</p> <p>○各教材のページ左脇には目標、「共通事項」と結びついた具体的な活動のポイントが示されており系統的・発展的に学習する構成になるよう工夫されている。</p> <p>○歌唱共通教材「日本の歌みんなの歌」では「A Message for you」で作者の思いや意図を示し「歌のアルバム」では発達の段階に応じた合唱曲が記載されている。</p> <p>○「音のスケッチ」は楽しく創作できるよう段階を追って教材が選択されている。</p> <p>〈音楽文化についての理解を深めさせる工夫〉</p> <p>○「ポピュラー音楽図鑑」「日本と西洋の音楽の歩み」「肖像で見る音楽年表」等多様な音楽に対する理解を深める工夫がされている。</p> <p>○雅楽、歌舞伎、能の一部を体験する場面を設けることで理解を深めさせたり、民謡や能の謡の楽譜が掲載され、表現と鑑賞の関連が図られる工夫がされている。</p> |
| | <p>資 料</p> <p>○巻頭でのヴァイオリン奏者、演出家、津軽三味線奏者からのメッセージをはじめ歌舞伎、オペラ、舞台芸術等、写真から音楽の多様性を感じ取ることができる。</p> <p>○「音楽著作権とインターネット」「アウトリーチ・教育活動・音楽療法」を掲載し音楽を多面的な角度から学習する工夫がされている。</p> |
| | <p>表記・表現</p> <p>○歌唱共通教材は、楽譜、縦書きの歌詞、ピアノ伴奏譜、写真が掲載されている。</p> <p>○吹き出しで、キャラクターが語りかける説明方法になっている。</p> |
| 総括 | <p>○豊富な教材が掲載され、ワーク的な要素を多く取り入れた構成となっている。</p> <p>○命の大切さ、思いやりの心等道德教育に資する歌唱教材が掲載されている。</p> |

教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告（2 / 2ページ）

種目(教科等)【音楽(一般)】

| 項目 | 教科書名(中学生の音楽) 会社名(教芸) |
|----------------------------------|--|
| 教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり | <p>○学習指導要領に沿った題材の目標や指導事項が「音楽学習MAP」としてまとめられ、アイコンで、題材ごとに「共通事項」が示され学習する内容が明確に示されている。また音楽を愛好する心情を育成し音楽に対する感性を豊かにするための教材や解説が示されている。</p> <p>○我が国や諸外国の音楽文化について理解できるよう幅広い分野から豊富な教材を取り上げ、音楽とその背景や生活に関する写真や資料を掲載し、体験重視の学習活動が取り入れられている。</p> |
| 特色 | <p>〈基礎的・基本的な知識技能を習得させる工夫〉</p> <p>○各学年に「BINGO GAME」「RHYTHM GAME」を設け、ゲーム感覚で楽しく音符や休符や記号について繰り返し確認、学習する構成になっている。</p> <p>○各学年に「MY VOICE」「指揮をしてみよう！」を設け、表現の基礎的な技能の習得や創意工夫するための解説が示され、発達の段階に応じて習得できるように工夫されている。</p> <p>〈思考力、判断力、表現力等を育成する工夫〉</p> <p>○思考力、判断力、表現力の活動を行うヒントとして吹き出しが示され「Challenge!」では豊かな感性を育む補足的な学習活動が位置づけられている。</p> <p>○「ここがわかればGrade up!」や創作などのワークシートでは共通事項と関連させながら思考・判断する場面を設け、表現方法を工夫する構成になっている。</p> <p>〈主体的に学習に取り組む態度を養う工夫〉</p> <p>○各教材には学習の目標とそれに迫る具体的な学習活動の手順、「学習の窓口」吹き出しなど、必要な情報が示され主体的に学習を進める構成になっている。</p> <p>〈音楽活動の基礎的な能力を伸ばすための工夫〉</p> <p>○共通事項を「学習の窓口」としてマークで示し「ここがわかればGrade up!」では学年に応じた基礎的学習内容を繰り返し確認できるよう工夫され教材が系統的・発展的に組織されている。</p> <p>○歌唱共通教材「心の歌」では作詞者や作曲者の言葉を掲載しており、「心通う合唱」として発達段階に応じた合唱曲が掲載されている。</p> <p>○我が国の伝統的な歌唱では民謡、長唄、能の声の特徴や留意点、音の高低がわかる絵譜を示し体験できるように工夫されている。</p> <p>○創作「My Melody」「Let's Create!」では簡潔な手順が示され、ワークシートの利用ができ、段階的に学習に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>〈音楽文化についての理解を深めるための工夫〉</p> <p>○我が国や世界の音楽文化の音楽の特徴や良さ、多様性を感じ取るために西洋音楽史を日本の歴史から捉えるコーナーや聴くポイントなどが掲載されている。</p> <p>○民謡、長唄、能を系統的・発展的に取り上げ表現と鑑賞の一体化を図る教材が選択されている</p> <p>○「心の歌」「歌い継ごう 日本の歌」は世代を超え日本の音楽文化を共有することができる。</p> |
| 総括 | <p>○基礎的・基本的な学習の習得のための精選された教材を中心に構成されている。</p> <p>○命の大切さ、思いやりの心等道徳教育に資する歌唱教材が掲載されている。</p> |
| 資料 | <p>○「国境を越えて影響し合う音楽」「ルールを守って音楽を楽しもう」では、多面的な角度から学習できるよう工夫され、日本や諸外国の音楽文化や舞台にかかわる情報が示されている。</p> <p>○日本の伝統芸能では、場面の様子写真が一致して示されている。</p> |
| 表記・表現 | <p>○歌唱教共通教材は、楽譜、縦書きの歌詞、ピアノ伴奏譜、写真が掲載されている。</p> <p>○学習事項が目に入るようにすっきりとしたデザインになっている。</p> |

